

自治基本条例に関するアンケート調査の結果

I 概要

1 目的

このアンケートは、市民の自治基本条例の認知度などを確認し、市が自治基本条例の理念に基づき、「参画」と「協働」のまちづくりを推進していくための基礎資料とすることを目的として実施したものである。

2 方法

- (1) 対象者 市内在住の16歳以上の方 2,000人
- (2) 実施期間 平成30年12月21日（金）～平成31年1月11日（金）
- (3) 方法 無作為抽出による郵送アンケート（WEB回答も可）

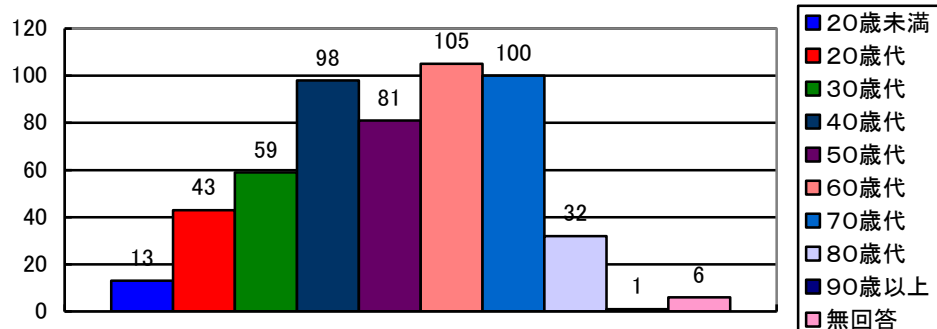
3 回答状況（平成31年3月現在）

- (1) 回答者 538人（郵送：493人、窓口：4人、WEB：41人）
- (2) 回答率 26.9%
- (3) 回答方法 郵送：91.6%、窓口：0.7%、WEB：7.6%
- (4) 性別

	H28 (n=582)	H30 (n=538)	増減
男	247 (42.4%)	220 (40.9%)	▲1.5%
女	301 (51.7%)	295 (54.8%)	3.1%
無回答	34 (5.8%)	23 (4.3%)	▲1.5%

(5) 年齢

順位	H28 (n=582)	H30 (n=538)
1	60歳代 138 (23.7%)	60歳代 105 (19.5%)
2	40歳代 109 (18.7%)	70歳代 100 (18.9%)
3	70歳代 85 (14.6%)	40歳代 98 (18.2%)
4	50歳代 79 (13.6%)	50歳代 81 (15.1%)
5	30歳代 70 (12.0%)	30歳代 59 (11.0%)



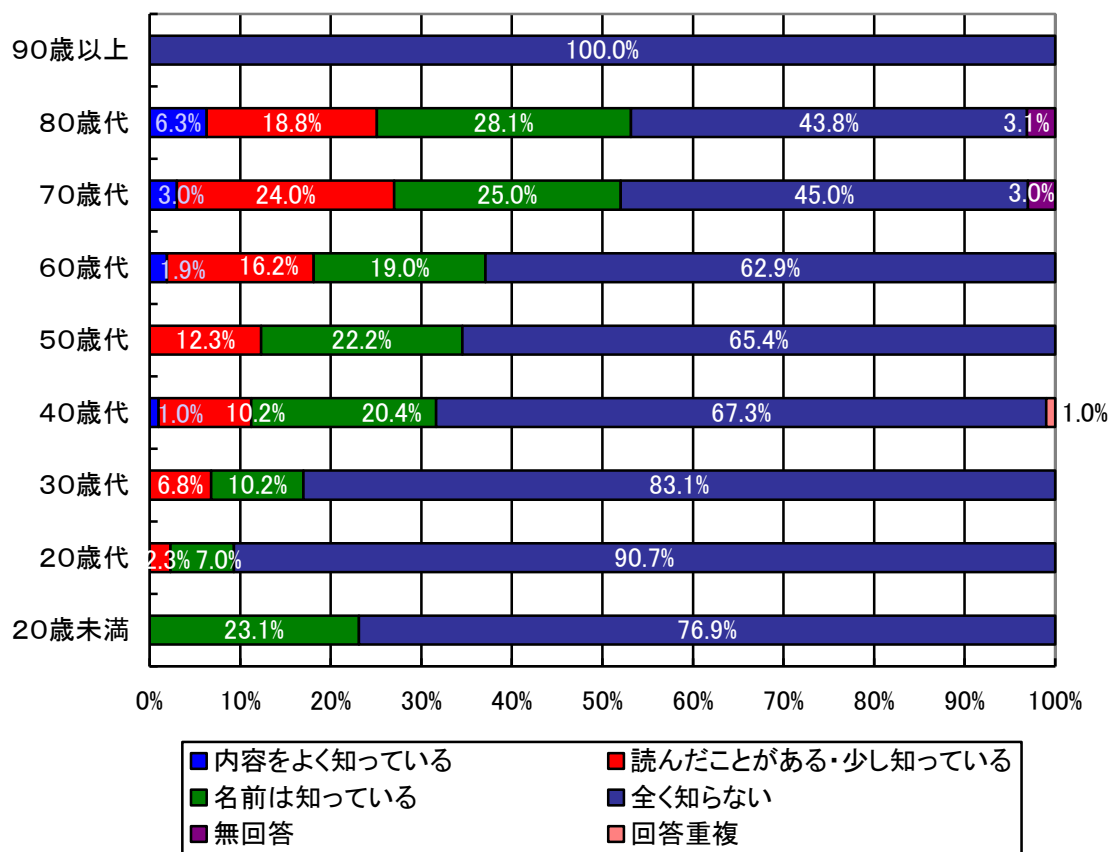
Ⅱ アンケートの結果概要（前回比較＋主要項目の動向）

問１ 自治基本条例の認知度

選択肢	H 2 8 (n=582)	H 3 0 (n=537)	増減
内容をよく知っている	8(1.4%)	8(1.5%)	0.1%
読んだことがある・少し知っている	63(10.8%)	72(13.4%)	2.6%
名前は知っている	114(19.6%)	106(19.7%)	0.1%
全く知らない	391(67.2%)	346(64.4%)	▲2.8%

64.4%の人が「全く知らない」と回答し、前回同様認知度は低いものであったが、前回と比較し「読んだことがある・少し知っている」が2.6%増加した。

（年代別構成比）



年代別で比較すると、70歳代及び80歳代の認知度が高いことが分かる。

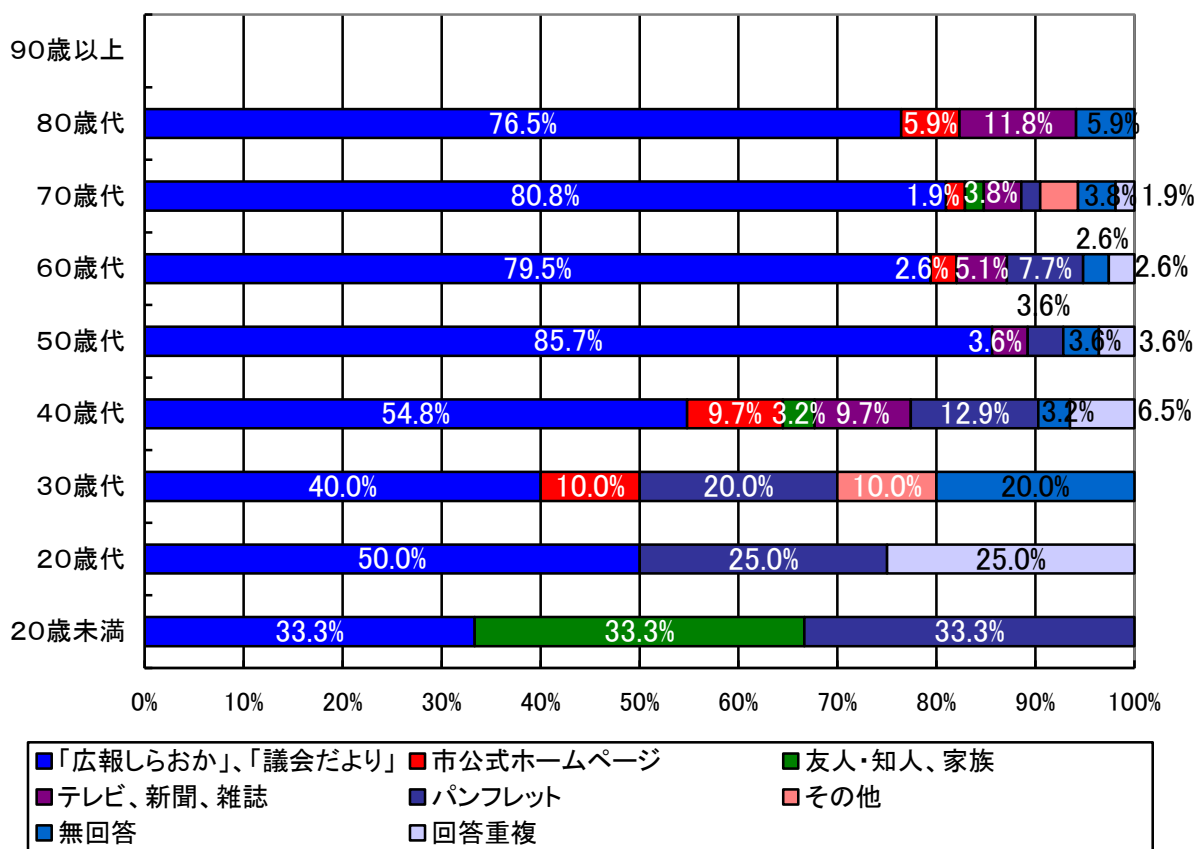
問2 自治基本条例を知った方法

順位	H 2 8 (n=193)	H 3 0 (n=186)
1	「広報しらおか」、「議会だより」 143 (74.1%)	「広報しらおか」、「議会だより」 142 (76.3%)
2	市公式ホームページ 13 (6.7%)	パンフレット 14 (7.5%)
3	友人・知人、家族 10 (5.2%)	テレビ、新聞、雑誌 11 (5.9%)
4	テレビ、新聞、雑誌 7 (3.6%)	その他 8 (4.3%)
5	パンフレット 1 (0.5%)	市公式ホームページ 7 (3.8%)

前回同様に「広報しらおか」、「議会だより」により認知した人が多い結果となった。

2位以下を見るとパンフレットにより認知した人が増えたことが分かる。

(年代別構成比)



年代別で比較すると40歳代を境目にして、認知の方法に違いがあることが分かる。

問3 自治基本条例で知っている規定

選択肢	H 2 8 (n=71)	H 3 0 (n=80)	増減
市民の権利	48 (67. 6%)	66 (82. 5%)	14. 9%
市民の責務	47 (66. 2%)	23 (28. 8%)	▲37. 4%

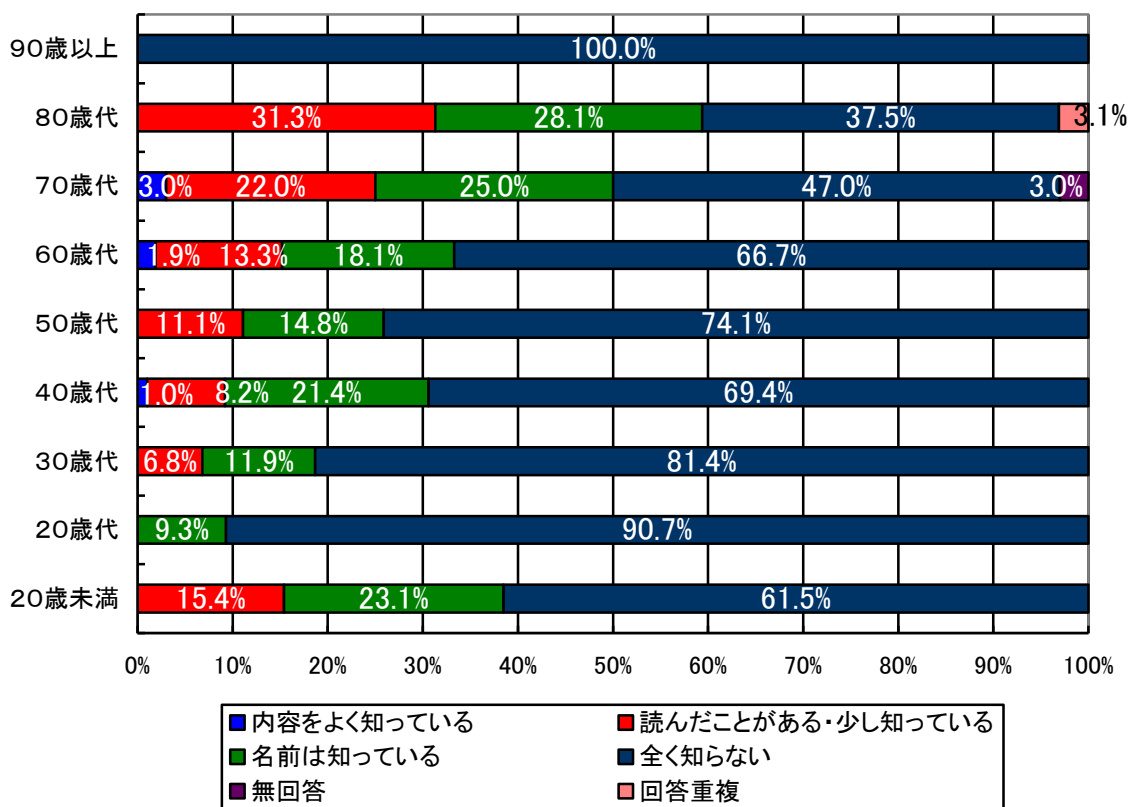
前回と比較すると、市民の権利の規定を知っている人が増えた一方で、市民の責務の規定を知っている人は減少した。

問4 市民参画条例の認知度

選択肢	H 2 8 (n=582)	H 3 0 (n=537)	増減
内容をよく知っている	8 (1. 4%)	6 (1. 1%)	▲0. 3%
読んだことがある・少し知っている	59 (10. 1%)	69 (12. 8%)	2. 7%
名前は知っている	121 (20. 8%)	100 (18. 6%)	▲2. 2%
全く知らない	389 (66. 8%)	357 (66. 5%)	▲0. 3%

全体の傾向としては、自治基本条例とほぼ同様であった。

(年代別構成比)



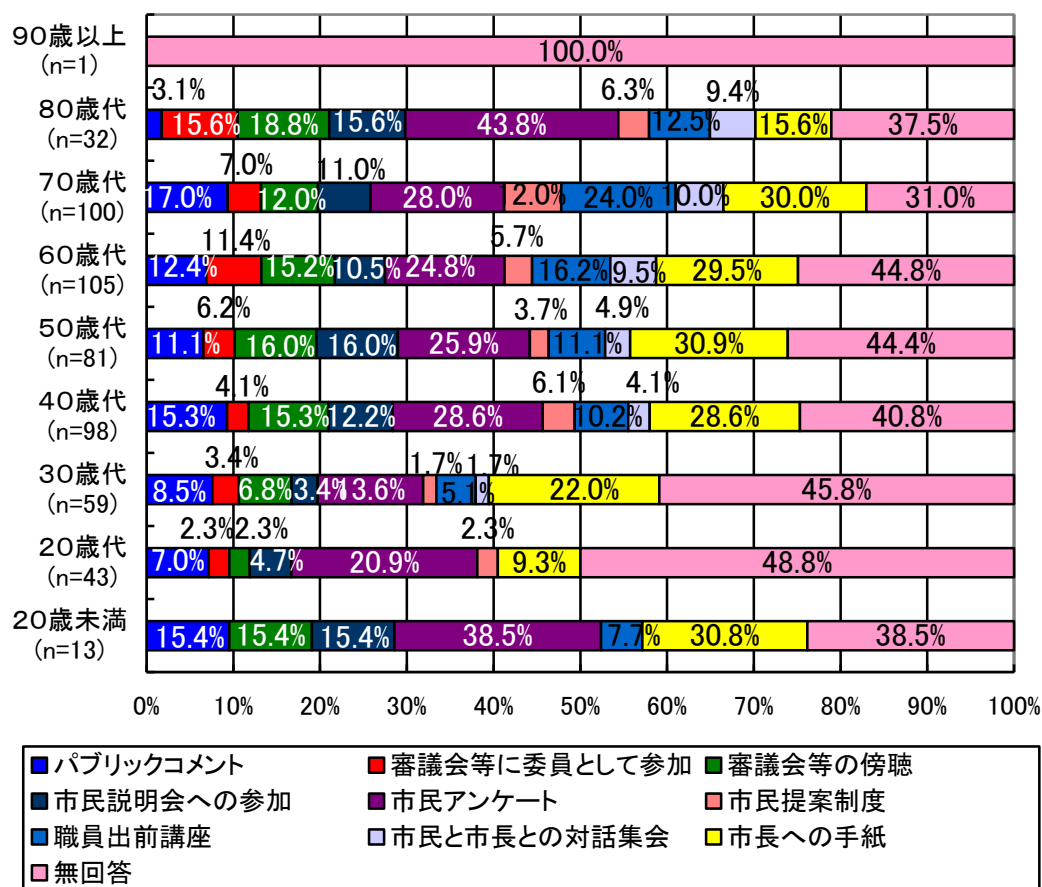
年代別の傾向も自治基本条例とほぼ同様であった。

問5 知っている参画手続等（複数回答可）

順位	H 2 8 (n=582)		H 3 0 (n=538)	
1	無回答	284 (48.8%)	無回答	224 (41.6%)
2	市長への手紙	187 (32.1%)	市長への手紙	141 (26.2%)
3	審議会等の傍聴	103 (17.7%)	市民アンケート	140 (26.0%)
4	市民アンケート	84 (14.4%)	審議会等の傍聴	69 (12.8%)
5	出前講座	23 (4.0%)	出前講座	68 (12.6%)

41.6%の人が「無回答」、つまりは知っている参画手続等がないと回答したが、前回と比較するとその割合は7.2%減少し、参画手続等の全体的な認知度は上がっている。

（年代別構成比）

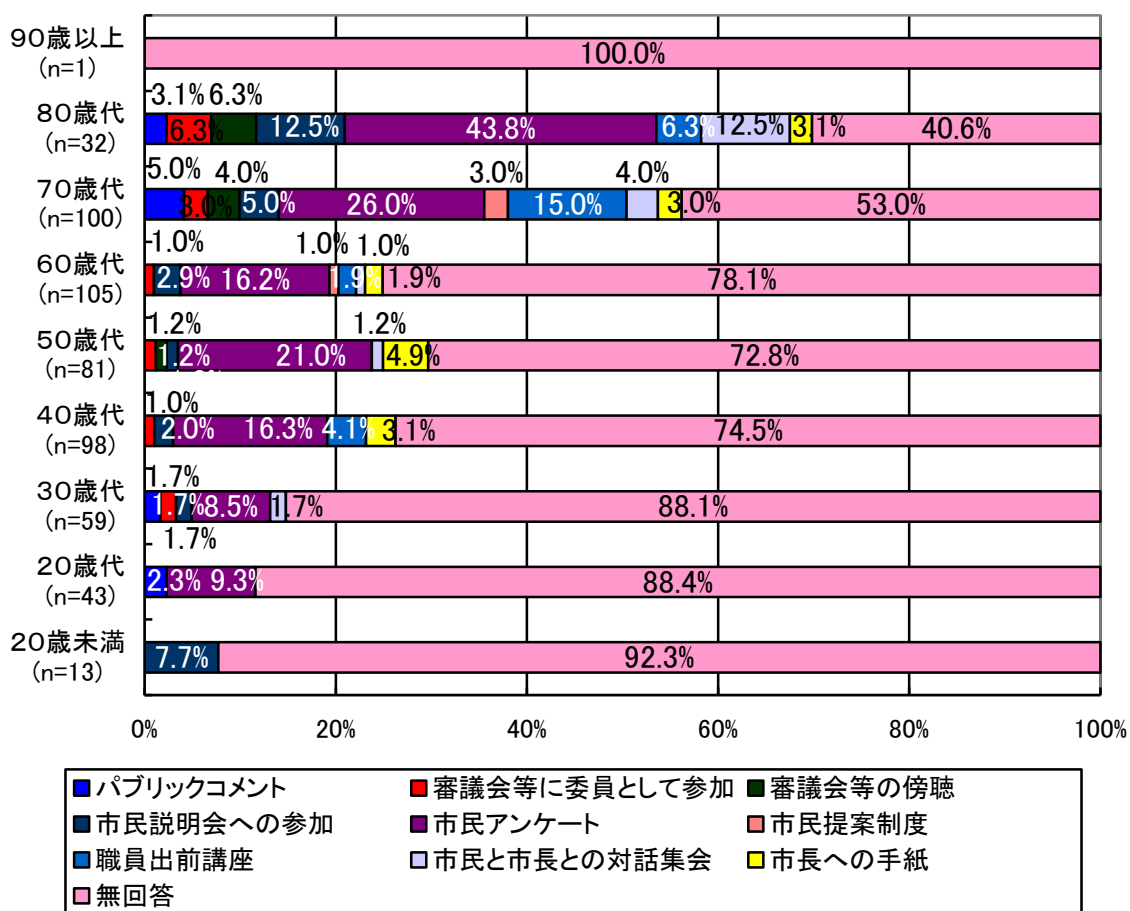


問6 参加したことがある参画手続等（複数回答可）

順位	H 2 8 (n=582)	H 3 0 (n=538)
1	無回答 457 (78.5%)	無回答 355 (66.0%)
2	市民アンケート 60 (10.3%)	市民アンケート 101 (18.8%)
3	市長への手紙 38 (6.5%)	出前講座 23 (4.3%)
4	出前講座 33 (5.7%)	市民説明会への参加 17 (3.2%)
5	市民説明会への参加 25 (4.3%)	市長への手紙 13 (2.4%)

66.0%が「無回答」、つまりは参画したことがないと回答したが、前回と比較するとその割合は12.5%減少し、市民の参画が進んでいる。

（年代別構成比）

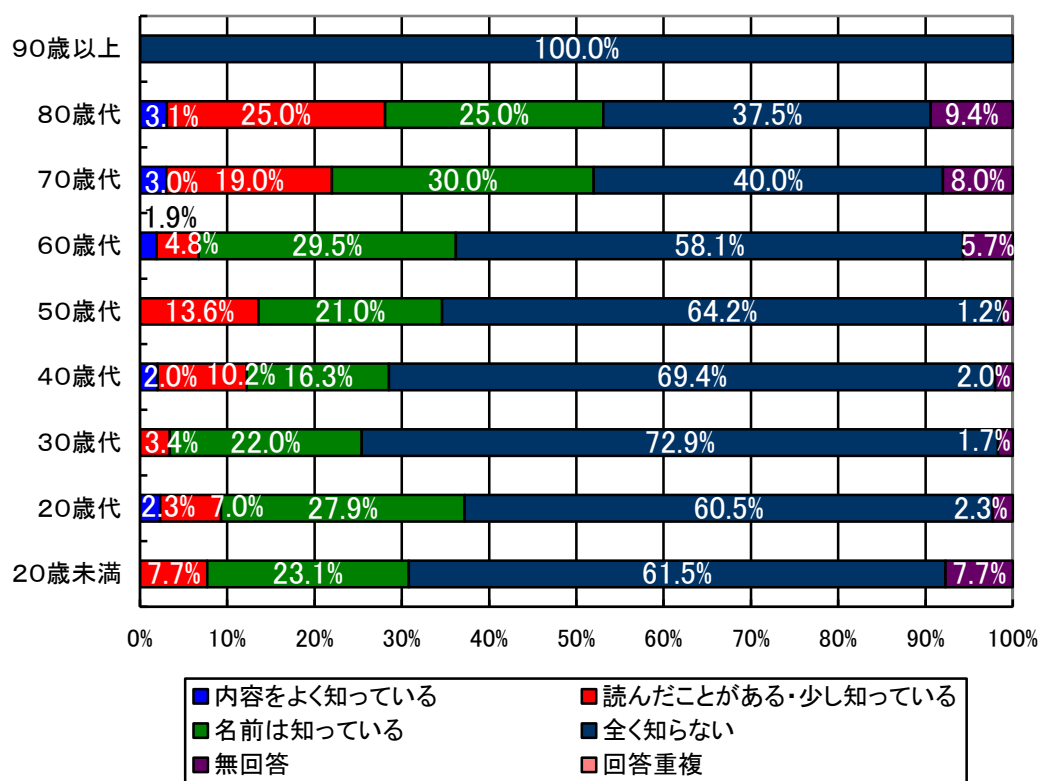


問 8 住民投票条例の認知度

選択肢	H 2 8 (n=582)	H 3 0 (n=538)	増減
内容をよく知っている	25 (4.3%)	9 (1.7%)	▲2.6%
読んだことがある・少し知っている	107 (18.4%)	59 (11.0%)	▲7.4%
名前は知っている	201 (34.5%)	131 (24.3%)	▲10.2%
全く知らない	246 (42.3%)	314 (58.4%)	16.1%

58.4%の人が「全く知らない」と回答し、前回よりも認知度が下がった。

(年代別構成比)



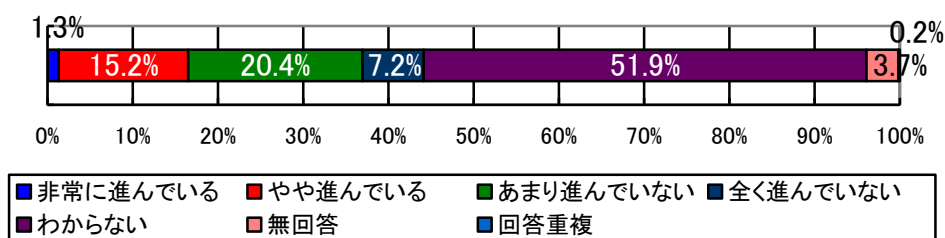
年代別で比較すると、70歳代及び80歳代の認知度が高いことが分
かり、その点は他の条例と同様の傾向である。

問 9 ・ 問 1 0 協働のまちづくりの進捗度及び分野別の協働のまちづくりの
進捗度

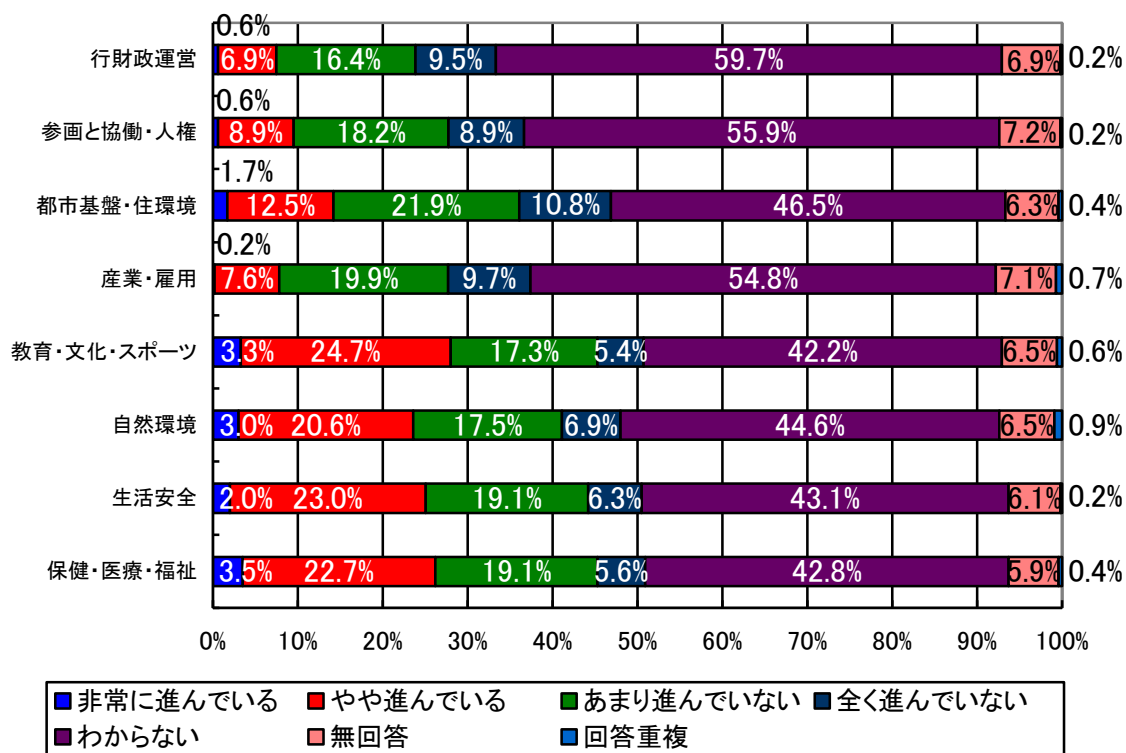
協働のまちづくりの進捗については、全体でも分野別でも「わからない」と回答した人がおよそ半数であった。

順位	「非常に進んでいる」・「やや進んでいる」が多い分野	「あまり進んでいない」・「全く進んでいない」が多い分野
1	教育・文化・スポーツ(n=535) 151 (28.2%)	都市基盤・住環境(n=536) 176 (32.9%)
2	保健・医療・福祉(n=536) 141 (26.4%)	産業・雇用(n=534) 159 (29.8%)
3	生活安全(n=537) 135 (25.1%)	参画と協働・人権(n=537) 146 (27.2%)

(問 9 構成比)



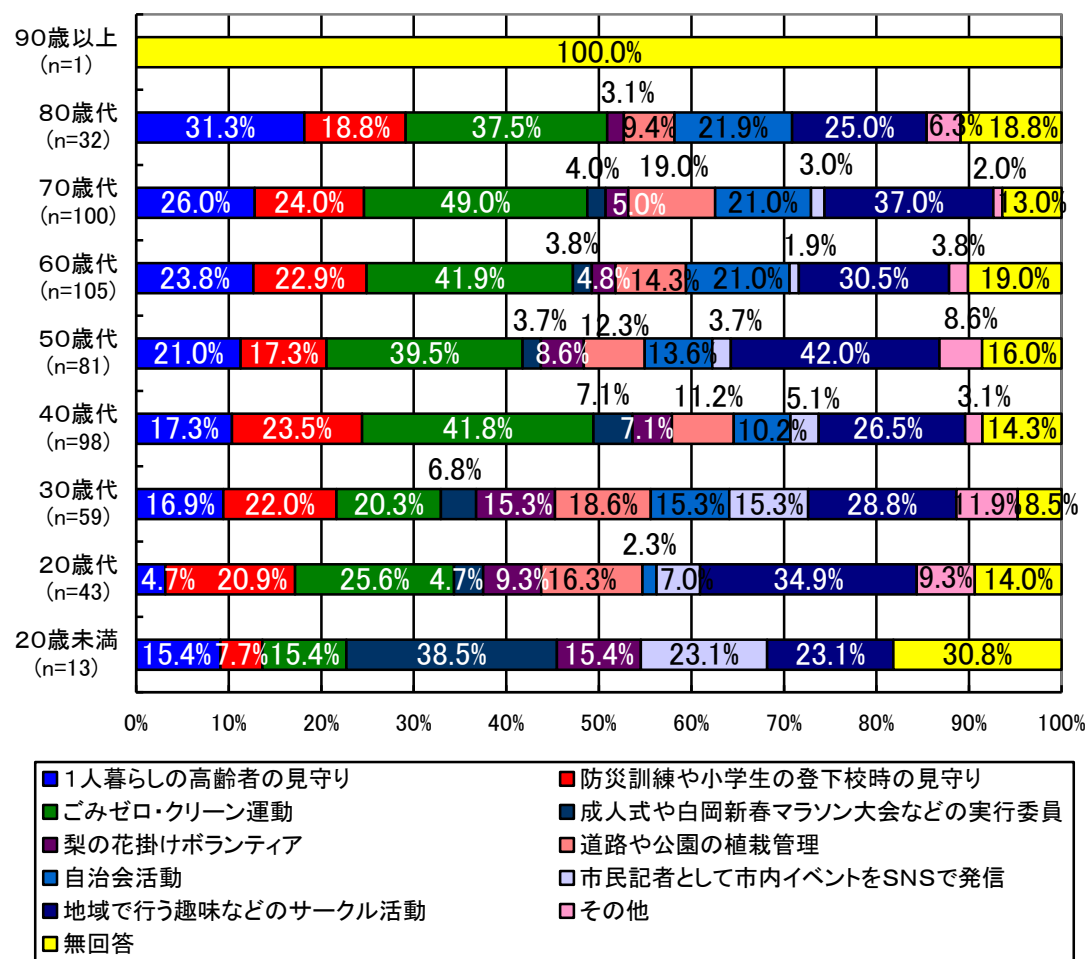
(問 1 0 構成比)



問 1 1 参加してみたい地域活動（複数回答可）

順位	H 2 8	H 3 0 (n=538)
1		ごみゼロ・クリーン運動 204 (37.9%)
2		地域で行う趣味などのサークル活動 174 (32.3%)
3		防災訓練や小学生の登下校時の見守り 115 (21.4%)
4		1人暮らしの高齢者の見守り 111 (20.6%)
5		無回答 85 (15.8%)

（年代別構成比）

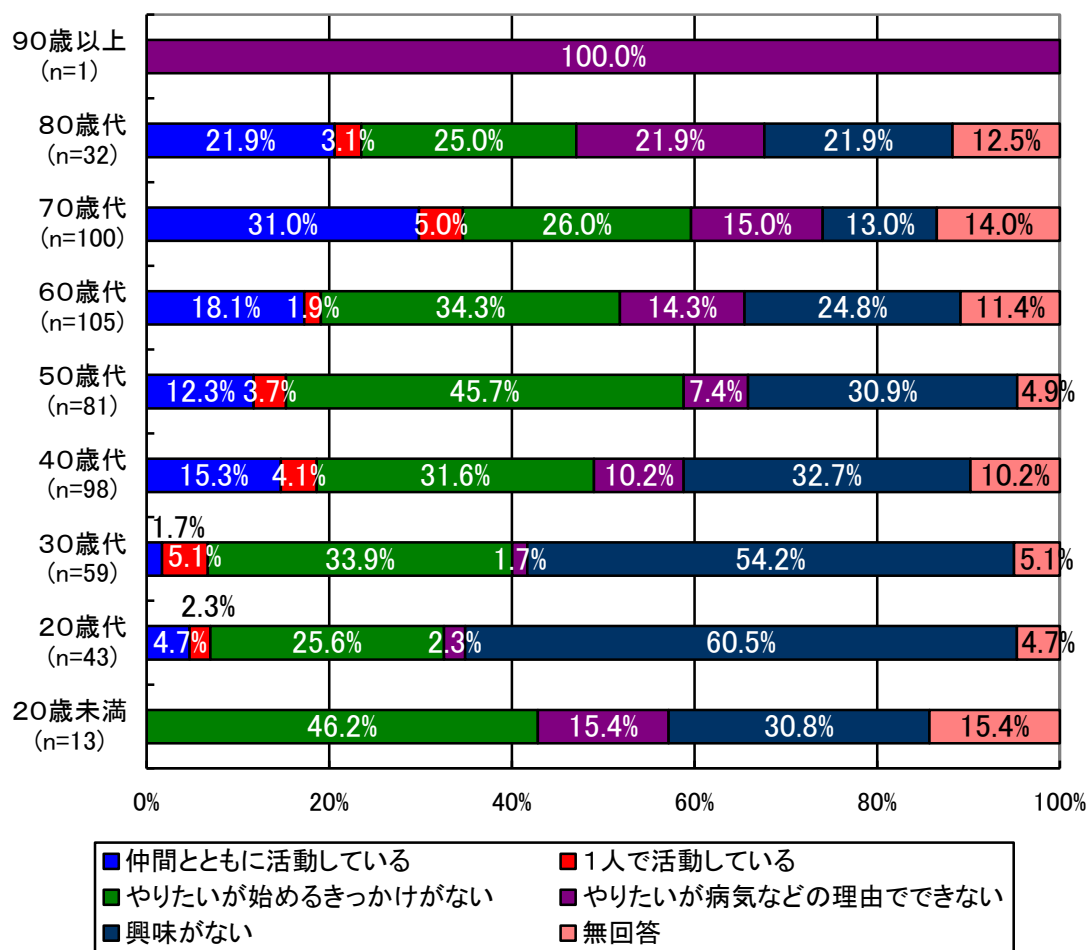


問 1 2 地域活動への取組状況（複数回答可）

順位	H 2 8	H 3 0 (n=538)
1		やりたいが始めるきっかけがない 175 (32.5%)
2		興味がない 167 (31.0%)
3		仲間とともに活動している 85 (15.8%)

3 2. 5 %の人が「やりたいが始めるきっかけがない」と回答している一方、3 1. 0 %の人が「興味がない」と回答している。

（年代別構成比）



年代別に比較すると、実際に地域活動を行っているのは割合が高いのは70歳代であった。

また、「やりたいが始めるきっかけがない」人は、年齢を問わず一定割合いることが分かる。

問 1 8 参画や協働の情報で知りたいと思うもの（複数回答可）

順位	H 2 8	H 3 0 (n=538)
1		市民説明会・フォーラム等のイベント開催情報 199 (37. 0%)
2		無回答 155 (28. 8%)
3		住民投票の実施情報 127 (23. 6%)

問 1 9 「参画と協働のまちづくりサポーター制度」の認知度

選択肢	H 2 8 (n=582)	H 3 0 (n=538)	増減
知っている	102 (17. 5%)	23 (4. 3%)	▲13. 2%
知らない	473 (81. 3%)	499 (92. 8%)	11. 5%

Ⅲ 単純集計結果

問1 自治基本条例の認知度 (n = 537)

ア) 内容をよく知っている	8 (1. 5%)
イ) 読んだことがある・少し知っている	72 (13. 4%)
ウ) 名前は知っている	106 (19. 7%)
エ) 全く知らない	346 (64. 4%)
オ) 無回答	5 (0. 9%)

問2 自治基本条例を知った方法 (n = 186)

ア) 「広報しらおか」、「議会だより」	142 (76. 3%)
イ) 市公式ホームページ	7 (3. 8%)
ウ) 友人・知人、家族	3 (1. 6%)
エ) テレビ、新聞、雑誌	11 (5. 9%)
オ) パンフレット	14 (7. 5%)
カ) その他	8 (4. 3%)

- ・このアンケートが郵送されてきて初めて知った。
- ・条例名は知っていたが、白岡市で制定されたのは、このアンケートで知った。
- ・平成21、22年行政区長時自治基本条例の草案づくりに係った。
- ・アンケート調査
- ・以前行政の立場から担当したことがある。
- ・アンケート調査により
- ・この調査
- ・今回

キ) 無回答	1 (0. 5%)
--------	------------

問3 自治基本条例で知っている規定 (複数回答可、n = 80)

ア) 市民の権利	66 (82. 5%)
イ) 市民の責務	23 (28. 8%)

問4 市民参画条例の認知度 (n = 537)

ア) 内容をよく知っている	6 (1. 1%)
イ) 読んだことがある・少し知っている	69 (12. 9%)
ウ) 名前は知っている	100 (18. 6%)
エ) 全く知らない	357 (66. 5%)
オ) 無回答	5 (0. 9%)

問5 知っている参画手続等 (複数回答可、n = 538)

ア) パブリックコメント	65 (12. 1%)
--------------	-------------

イ) 審議会等に委員として参加	36 (6. 7 %)
ウ) 審議会等の傍聴	69 (12. 8 %)
エ) 市民説明会への参加	58 (10. 8 %)
オ) 市民アンケート	140 (26. 0 %)
カ) 市民提案制度	31 (5. 8 %)
キ) 出前講座	68 (12. 6 %)
ク) 市民と市長との対話集会	32 (5. 9 %)
ケ) 市長への手紙	141 (26. 2 %)
コ) 無回答	224 (41. 6 %)

問6 参加したことがある参画手続等（複数回答可、n = 538）

ア) パブリックコメント	8 (1. 5 %)
イ) 審議会等に委員として参加	9 (1. 7 %)
ウ) 審議会等の傍聴	7 (1. 3 %)
エ) 市民説明会への参加	17 (3. 2 %)
オ) 市民アンケート	101 (18. 8 %)
カ) 市民提案制度	4 (0. 7 %)
キ) 出前講座	23 (4. 3 %)
ク) 市民と市長との対話集会	11 (2. 0 %)
ケ) 市長への手紙	13 (2. 4 %)
コ) 無回答	355 (66. 0 %)

問7 参画しやすくするために重要だと思うこと（複数回答可、n = 538）

ア) 制度の周知を行う	354 (65. 8 %)
イ) 機会の周知を行う	216 (40. 1 %)
ウ) 意見の提出方法をわかりやすくする	158 (29. 4 %)
エ) 審議会等の開催曜日、時間を工夫する	89 (16. 5 %)
オ) 審議会等の内容をわかりやすく事前に周知する	139 (25. 8 %)
カ) その他	17 (3. 2 %)

- ・もっとわかりやすい説明
- ・現状のままでよい。モンスター市民（プロ市民）は、相手にしなくてよい。
- ・どれも重要だと思うが、なかなか難しいと思う。
- ・期間をおいて説明するのではなく、「広報しらおか」のように毎月何か情報を発信することと思います。
- ・どんな方法でもよいので地域住民の声が市議会や市長へ届く方法で住みよい白岡市にする。
- ・各地区の集会所で行ってください。
- ・ネーミング（わかりやすいもの）

- ・趣味（好きでしているものを生かして、無駄にせずうまく利用する）
- ・意見を真摯に受け止める事が重要。
- ・インターネット等を利用して参画できるようにして、多くの若い世代が関心を持てるようにすることが必要だと思います。
- ・どのような物が有るのか、又参画の方法をわかりやすく周知する必要があると思う
- ・白岡市に住んで30年近くなりますが、このアンケート調査票を受け取って初めて自治基本条例という言葉を理解しました。「すみよいまちづくり」との先の言葉が繋がったという事です。
- ・face book や、インスタグラムなどのSNSの活用。若者により興味をもってもらえる工夫が必要。
- ・市役所が遠くて、わざわざ行こうとまで思わないので、スーパーとか、金融機関等に意見箱を置き、用紙を用意して意見を（述べて）記入してもらおう。
- ・正直、地域のつながりや市の魅力を感じません。
- ・意見のフェードバックを個人に知らせる。
- ・市会議員の方々に、聞く耳を、もっていただきたい。
- ・各自治会との連携の強化
- ・住民と市の運営との距離感を縮めることが大切です。とりわけ大山地区は地理的にも活動負担が大きく、心理的負担となる。
- ・わからない
- ・若い人が参画するような工夫など
- ・市民と役所の距離を近くする。
- ・年齢代別の参加者割合にする
- ・地域にもっと興味関心をもってもらえるように各年代層別のアプローチ方法にチャレンジする。
- ・興味を持ってもらおう 興味がなきゃ誰も参加しない。
- ・こういった条例を知る機会がありませんでした。
- ・駅前や商業施設での周知。Web や SNS 呼びかけは最優先。

キ) 無回答 25 (4. 6%)

問8 住民投票条例の認知度 (n = 538)

- ア) 内容をよく知っている 9 (1. 7%)
- イ) 読んだことがある・少し知っている 59 (11. 0%)
- ウ) 名前は知っている 131 (24. 3%)
- エ) 全く知らない 314 (58. 4%)
- オ) 無回答 25 (4. 6%)

問9 協働のまちづくりの進捗度 (n = 537)

- ア) 非常に進んでいる 7 (1. 3%)
- イ) やや進んでいる 82 (15. 3%)

ウ) あまり進んでいない	1 1 0 (2 0 . 5 %)
エ) 全く進んでいない	3 9 (7 . 3 %)
オ) わからない	2 7 9 (5 2 . 0 %)
カ) 無回答	2 0 (3 . 7 %)

問 1 0 分野別の協働のまちづくりの進捗度 (n = 5 3 6)

(1) 保健・医療・福祉の分野の協働

ア) 非常に進んでいる	1 9 (3 . 5 %)
イ) やや進んでいる	1 2 2 (2 2 . 8 %)
ウ) あまり進んでいない	1 0 3 (1 9 . 2 %)
エ) 全く進んでいない	3 0 (5 . 6 %)
オ) わからない	2 3 0 (4 2 . 9 %)
カ) 無回答	3 2 (6 . 0 %)

(2) 生活安全の分野の協働 (n = 5 3 7)

ア) 非常に進んでいる	1 1 (2 . 0 %)
イ) やや進んでいる	1 2 4 (2 3 . 1 %)
ウ) あまり進んでいない	1 0 3 (1 9 . 2 %)
エ) 全く進んでいない	3 4 (6 . 3 %)
オ) わからない	2 3 2 (4 3 . 2 %)
カ) 無回答	3 3 (6 . 1 %)

(3) 自然環境の分野の協働 (n = 5 3 3)

ア) 非常に進んでいる	1 6 (3 . 0 %)
イ) やや進んでいる	1 1 1 (2 0 . 8 %)
ウ) あまり進んでいない	9 4 (1 7 . 6 %)
エ) 全く進んでいない	3 7 (6 . 9 %)
オ) わからない	2 4 0 (4 5 . 0 %)
カ) 無回答	3 5 (6 . 6 %)

(4) 教育・文化・スポーツの分野の協働 (n = 5 3 5)

ア) 非常に進んでいる	1 8 (3 . 4 %)
イ) やや進んでいる	1 3 3 (2 4 . 9 %)
ウ) あまり進んでいない	9 3 (1 7 . 4 %)
エ) 全く進んでいない	2 9 (5 . 4 %)
オ) わからない	2 2 7 (4 2 . 4 %)
カ) 無回答	3 5 (6 . 5 %)

(5) 産業・雇用の分野の協働 (n = 5 3 4)

ア) 非常に進んでいる	1 (0 . 2 %)
-------------	--------------

イ) やや進んでいる	41 (7. 7%)
ウ) あまり進んでいない	107 (20. 0%)
エ) 全く進んでいない	52 (9. 7%)
オ) わからない	295 (55. 2%)
カ) 無回答	38 (7. 1%)

(6) 都市基盤・住環境の分野の協働 (n = 536)

ア) 非常に進んでいる	9 (1. 7%)
イ) やや進んでいる	67 (12. 5%)
ウ) あまり進んでいない	118 (22. 0%)
エ) 全く進んでいない	58 (10. 8%)
オ) わからない	250 (46. 6%)
カ) 無回答	34 (6. 3%)

(7) 参画と協働・人権の分野の協働 (n = 537)

ア) 非常に進んでいる	3 (0. 6%)
イ) やや進んでいる	48 (8. 9%)
ウ) あまり進んでいない	98 (18. 2%)
エ) 全く進んでいない	48 (8. 9%)
オ) わからない	301 (56. 1%)
カ) 無回答	39 (7. 3%)

(8) 行財政運営の分野の協働 (n = 537)

ア) 非常に進んでいる	3 (0. 6%)
イ) やや進んでいる	37 (6. 9%)
ウ) あまり進んでいない	88 (16. 4%)
エ) 全く進んでいない	51 (9. 5%)
オ) わからない	321 (59. 8%)
カ) 無回答	37 (6. 9%)

問11 参加してみたい地域活動（複数回答可、n = 538）

ア) 1人暮らしの高齢者の見守り	111 (20. 6%)
イ) 防災訓練や小学生の登下校時の見守り	115 (21. 4%)
ウ) ごみゼロ・クリーン運動	204 (37. 9%)
エ) 成人式や白岡新春マラソン大会などの実行委員	29 (5. 4%)
オ) 梨の花掛けボランティア	40 (7. 4%)
カ) 道路や公園の植栽管理	77 (14. 3%)
キ) 自治会活動	81 (15. 1%)
ク) 市民記者として市内イベントをSNSで発信	21 (3. 9%)

ケ) 地域で行う趣味などのサークル活動	174 (32.3%)
コ) その他	30 (5.6%)

- ・ わからない
- ・ なし
- ・ 祭りの参加
- ・ 傾聴ボランティア
- ・ 特になし
- ・ なし
- ・ 前年度から白岡マラソンを篠津志毛地区のおはやし連のみなさんと千駄野で応援しています。
- ・ 以下の2点に関しては会社の中でも関心が高い方だと思う。
- 1) 外国人の見守りや交流→私の会社では外国人労働者が多く、コミュニケーションをとりながら仕事をしている（言葉や文化のちがいに負けずに頑張っている）。
- 2) 待機児童の学童や保育所で自分に何かができないか→私の会社でも保育所や学童のお迎えで残業等働きたくてもやむを得ず帰るお母さんたちを見ます。
- 高齢者の見守りとごみゼロについて、大切なことだと思うが、両親が亡くなり一人暮らしの自分にとって、今自分の家と庭をゴミゼロ・クリーン運動を実施しているがなかなか進まないのが現状。
- ・ 教育などの分野における子育て支援
- ・ 健康面に不安があります。
- ・ 特になし
- ・ 今の所特になしです。
- ・ いくつか経験済みです。後身の活躍を期待する。
- ・ 地域のイベント（白岡まつりか駅周辺の各種イベント）
- ・ 白岡ニュータウンの自治会活動でのごみゼロ・クリーン運動を行っている（年2回）。
- ・ なし
- ・ 特になし
- ・ 障害児・者福祉
- ・ 自治会役員をしていた。新春マラソンは毎年している。
- ・ 公共施設の整備改善といったハード面を進めるための協力ができないかと思っている。
- ・ 働いていて時間がありません。
- ・ 特にない
- ・ 白老連活動
- ・ 自分の生活でいっぱい余裕がないので。人間関係が苦手（体調があまり良くないので）。
- ・ スポーツ少年団の活動

- ・働いているため参加する時間がない。今の所興味がない
- ・ボランティア指導員
- ・地域でつながる必要はない。地域でそれぞれ思う事を守っていけばよい。
- ・なし
- ・行政区の役員他（登下校の見守り、公園、市道の清掃等）実施しており、現状で限界。
- ・特にありません。
- ・白岡や岡泉など地域ごとに行う交流会で親睦を深める。近所にどんな人が住んでいるか知る機会。
- ・仕事があるため参加しにくい。
- ・仕事が多忙なため、参加ができない。
- ・地域や市のことを知り、知ってもらう活動。
- ・とくに参加したくない。
- ・既に地元で地域活動してる。
- ・特になし
- ・どれも参加したくない。
- ・参加したい活動が1つもない。

サ) 無回答 85 (15.8%)

問12 地域活動への取組状況（n = 538）※複数回答有

ア) 仲間とともに活動している 85 (15.8%)
 イ) 1人で活動している 19 (3.5%)
ウ) やりたいが始めるきっかけがない 175 (32.5%)
 エ) やりたいが病気などの理由でできない 60 (11.2%)
 オ) 興味がない 167 (31.0%)
 カ) 無回答 53 (9.9%)

問13 知っていた協働事業（複数回答可、n = 538）

ア) 市内の自然林・竹林の保護活動 42 (7.8%)
 イ) まちなか花のオアシス事業 133 (24.7%)
 ウ) 山の憩の森公園利用に関する掲示板の設置 26 (4.8%)
 エ) 草花を植栽・管理する事業 68 (12.6%)
 オ) 植栽用コンテナ等11個の植えつけ及びけやきの落ち葉を使用しての堆肥作成 30 (5.6%)
 カ) 山の憩の森公園土留めの改修、花壇の整備 27 (5.0%)
 キ) 白岡 GO!! DANCE FESTA 66 (12.3%)
 ク) 植栽帯や雑草の除去等管理する事業 27 (5.0%)
 ケ) 菁莪いきいきプロジェクト第1弾 地域シンポジウム「みんなで地域の空家を考えよう!!」 43 (8.0%)

コ) 無回答 265 (49.3%)

問14 「協働のまちづくりモデル事業」の認知度 (n=538)

ア) 知っている 77 (14.3%)

イ) 知らない 440 (81.8%)

ウ) 無回答 21 (3.9%)

問15 「協働のまちづくりモデル事業」の活用意向 (n=538) ※複数回答有

ア) 市と協働できる活動をしているので、モデル事業を活用してみたい

19 (3.5%)

イ) 市と協働できる活動をしているが、補助金がなくとも活動できる

8 (1.5%)

ウ) 市と協働できる活動は少ないが、新たな活動でモデル事業を活用してみたい

60 (11.2%)

エ) 市と協働できる活動は少ないので、モデル事業の活用は考えていない

54 (10.0%)

オ) 地域活動をしていない

333 (61.9%)

カ) 無回答

67 (12.5%)

問16 地域活動へ参加するきっかけ作りの講座への参加意向 (n=538)

ア) ぜひ参加したい

15 (2.8%)

イ) 都合が合えば参加したい

308 (57.2%)

ウ) 興味がない

181 (33.6%)

エ) 無回答

34 (6.3%)

問17 「地域活動キックオフ事業 (地域活動発見講座)」の認知度

(n=538)

ア) 知っている

21 (3.9%)

イ) 知らない

493 (91.6%)

ウ) 無回答

24 (4.5%)

問18 参画や協働の情報で知りたいと思うもの (複数回答可、n=538)

ア) 審議会委員等の公募情報

38 (7.1%)

イ) パブリックコメントの実施情報

79 (14.7%)

ウ) 住民投票の実施情報

127 (23.6%)

エ) 市民説明会・フォーラム等のイベント開催情報

199 (37.0%)

オ) ボランティアの募集情報

114 (21.2%)

カ) 委託・事業協力の募集情報

41 (7.6%)

キ) 無回答

155 (28.8%)

問 19 「参画と協働のまちづくりサポーター制度」の認知度 (n = 538)

ア) 知っている	23 (4. 3%)
イ) 知らない	499 (92. 8%)
ウ) 無回答	16 (3. 0%)

問 20 「参画と協働のまちづくりサポーター制度」への参加意向

(n = 538)

ア) 登録済み	1 (0. 2%)
イ) 応募したい	34 (6. 3%)
ウ) 応募したいができない	148 (27. 5%)

(理由)

- ・ 年歳の違いがありそうです。
- ・ 勉強で忙しい。
- ・ 共働きで余裕がないため
- ・ 時間の余裕がない。
- ・ 高齢と病弱
- ・ 年齢的に無理と思う。
- ・ 現在多忙である。
- ・ 忙しいので
- ・ 高歳のため
- ・ 仕事の関係
- ・ 病気のため
- ・ 仕事が不規則なため
- ・ 慢性の病気を持っているため
- ・ 病気のため
- ・ 育児
- ・ 高齢になり考え中です。
- ・ 高齢のため
- ・ 仕事と家事、育児でまだまだ忙しいです。家族の事を考える事が先です。子どもが学生の間は。
- ・ 子育てや仕事が忙しく、子供も小さい為に参加が難しいと思うので。
- ・ 仕事をしているので、時間の都合が、作れないです。
- ・ 体調不安定
- ・ 会社が昼夜勤シフト制なので今応募して無責任な行動をとるよりも定年退職後死ぬまでの間子供の頃から育った故郷（白岡市）に何か役立つことがしたい。
- ・ 今現在、母が要介護3で、私と母の2人で生活しているので、月～金は働き、土日は家のこと、自分のことで時間が無理かなと思います。活動時間等まだよく分かってません。
- ・ 忙しい

- ・週３回、県外に出かけているため
- ・家族に病人がいるため
- ・時間が分らない。
- ・闘病中
- ・仕事と子育てで手一杯。
- ・農家なので、毎日の仕事がいそがしいので無理です。
- ・仕事等で多忙のため
- ・毎月通院しているため
- ・体が不自由
- ・健康面に不安があります。
- ・老人のため
- ・難聴のため
- ・平日は仕事がある。土日は趣味や家事で終わってしまうので難しい。
- ・時間が取れない。
- ・高齢のため
- ・子供が小さいため
- ・過去に長年にボランティア活動に参加してました。(今は体が不自由になりました。) 大勢の方を喜ばせることができました。
- ・病気がち。
- ・フルタイムで働いている。
- ・高齢によりできない。
- ・仕事が忙しいため
- ・仕事と老犬
- ・高齢のため
- ・仕事が忙しい。
- ・会社の所在地にて活動をしている為手いっぱい
- ・定年後でないと、恐らく時間の都合がつかないため
- ・腰痛、手首腱鞘炎、仕事（変則休み）
- ・自営のため時間とれず。
- ・体力的に自信がない。
- ・今まで個人的には仲間と活動してきたが８６才と高齢のため隠退した。しかし体調は良いので自分の体は自分で管理している。妻と近所に住む子供孫との交流、市内の友人とは週３回のＧＧ、会社同僚、熊谷高校の同級生、中大法学部の同級生とはそれぞれ年に何回かの会合等を重ねている。
- ・子育てと仕事
- ・体力減退
- ・両親の介護があるため。
- ・時間的に余裕がない（仕事・家庭・親の介護 etc のため）。
- ・仕事が忙しい。
- ・育休中のため

- ・仕事が忙しく生活に余裕がない。
- ・時間がない。
- ・仕事に従事している現役世代なので時間が取れない。
- ・週5日フルタイムでの仕事、体調管理のため土休日はゆっくりしたい。
- ・子育て、仕事の両立で手一杯のため
- ・この制度について何も知らないので、何をしたらどうなるのかさえ分からない。
- ・参加する時間がない。
- ・仕事が多忙で地域に協力したいができない現状があり申し訳なく思っています。
- ・登録しても実際にできるかどうか分からないから。
- ・年齢が高いので無理だと思います。
- ・時間が足りない。足腰が悪い。
- ・仕事が忙しいため
- ・高齢で難病のため右眼視力を失った。
- ・現状でもやらなければいけない事あり
- ・高年齢、病気（癌）のため
- ・働いているから
- ・仕事を持っているため
- ・時間がとれない。あと数年後には定年。その頃には…
- ・時間が無い！残念 定年したら参加したい。
- ・時間的に余裕がありません。
- ・過去、市民参画制度を実施しても、いずれ形骸化し、消滅してしまう事例が多く、期待はずれに終わってしまうから。
- ・仕事と育児の割り合いを考え参加できる機会が少ない。調整しづらい。
- ・申込書有難うございます。仕事が忙しく、参加は難しいですが、ホームページ等で制度、活動等を見てまいりたく考えています。
- ・高齢なので。
- ・知らないから。
- ・不自由が多くなってきた事。（目耳など）
- ・高齢のため
- ・仕事がある。
- ・興味のあるイベントがない。
- ・自営業のため時間がなかなかとれない。
- ・仕事をしているのと子供にまだ手がかかるため
- ・病気のため
- ・体調不良
- ・子供が小さいため、余裕がない。
- ・孫の子育てを手伝っているため、時間がない
- ・仕事と自治会役員で忙しく、これ以上時間をとるのは難しい
- ・病気の為

- ・仕事で障害対応があるので予定を確定できないため
- ・出産したばかりで、子供が小さいため
- ・時間がない。
- ・白岡には寝るためだけに帰ってきてるようなものなので考えたり参加する時間はない。
- ・闘病中のため
- ・体が言うこときかない。

エ) 興味がない

282 (52.4%)

オ) 無回答

73 (13.6%)

問21 自由記述

・白岡市に住んで2年半になりますが、市よりの情報源である広報が届きません。行政区とか自治会とかで、会に加入しないと市より広報は届かないのでしょうか。行政区長は、地域に居住の世帯に広報を届ける責務があると思いますが。報酬が支払われているのではないのでしょうか。できないのなら市内のコンビニや銀行等、スーパー色々な所に広報を配置したらよいと思うのですが。スマホとかPCで広報を確認することはできますが、PC等ない人はどうしたらよいのでしょうか。コミセン等に置いてあるようですが、わざわざそれだけを取りに行くのは大変ですよね。もう1点、のりあいタクシーはダメですね。市内巡回バスや隣の市町へのバスの運行を望みます。委員にならないと、市に意見等提案することができないのですか。

・草花の植栽、街のオアシス化など、前向きな取組みを否定するつもりはないが、市有地の雑草除去に積極的な見回り管理を行うなど、身近な住環境整備にももっと目をつける必要があるのではないか？（隣接地に住んでいるため仕方なく除草しているが、これをボランティア活動というのとは少し違うと思う。あくまでも市指導で除草し、それを手伝うというのなら納得できるが…）。視点をちょっと変えていただかない限り、サポーターになる気が起きない。

・市が”事務局”をして下さる「傾聴ボランティア」があれば、個人で参加したい（社協の傾聴ボランティアは自主グループ活動なので、会長や会計仕事の苦手なものは参加できない）。

・分かりやすく多くの人に発信してほしい。

・周知不足。税金を有効に使ってほしい。

・このままで十分です。

・大型商業施設（イオン系・他）が白岡にもあればもっと市全体が活性化されると思います。

・広報誌での周知を進めてほしい。

・ありません。

・特になし

・いかに自分が広報を読んでなかったかよく分かった。ろくに広報を読まずに行政や議会のことをとやかく言える立場にない。よくテレビや報道などで行政が悪い、議会が悪いと言う人達がいるが、私はこのアンケートをやって自分が一番悪いと確信した。もっと、勉強しなければいけない!!それで故郷白岡市が発展していけばよいと思う。

・宮代、春日部、久喜などでもサークル活動を行っているが、正直に申し上げて、白岡での活動は大変やりにくい。他の市と比べて、バスなどの公共交通機関も発達しておらず、公民館の机もぐらぐらとゆれるような脚が半ば壊れた物が多い状態。新白岡駅前の Sis café やマメールなども店を閉じ、スーパー建設予定地だった場所には、マンションが建つ始末。宮代のように、市内の店を市と一緒に頑張って応援したりする取り組みは白岡にはないのだろうか。高齢者が増え、自家用車のない家が多くなってくる中で、その対策もない、店もない、活気もない。このような市に愛着もなくなっていく中で、どうしてこのような条例に興味を持てるだろうか...都市計画からしておかしい！

・ゴミ置き場の改善について（例）ゴミ置き場の備品など行政にて用意してほしい。

・今回のアンケートに同封のパンフレットで自治基本条例を知りました。制度の周知の機会を増やしてほしい。

・今のところありません。少し勉強不足ですみません。まちづくりサポーターの方々が働きながらなのか、時間はどのように取っているのか知りたいです。

・自治会は、ほとんど何もしていないのに、会費が高い。自治会費は（区費）月300円、1日当たり毎日10円、市民税を払っているのに、区費は何に使うのか市でも管理してほしい。

・思うに働き盛りの世代に納税以上の協力を期待するのであれば目に見える成果ややりがいを提供できないと制度として成立しないのではないのでしょうか？少なくとも私は、全く魅力を感じないため、本制度・条例について調べる気にもなりません。

・もっと分かりやすくしてほしい。

・ホテルのビオトープ活動の参加募集情報を知りたくお教え願いたいです。

・今まであまり関心がなかったのですが、分かりやすい案内によっては参加できるものもあるかと思います。80歳代ですので確約はできませんが興味はあります。市を益々良くするために御苦勞様です。よろしくお願いいたします。

・特になし

・アンケートが届くまで、全く知らないままになった可能性があります。周知方法を検討していただいた方がよいのではないかと感じました。

・あまり知らなかったのも、もっと周知を。

・特になし

・市内に街灯を増やしてほしい。白岡駅前は x'mas ツリーが飾られているが新白岡駅には何もない。新白岡駅前のロータリー内の土地がいつも草だらけで、もう少し木を植えたり花を植えたりして、きれいにしてほしい。市内に2つの駅があ

るのだから、同じように管理してほしい。農地よりまず駅前をきれいにしてほしい。新白岡駅東口の鳥害はひどすぎて道路（歩道も）を歩くことができない。何とかしてほしい。夕刻6：30～7：00くらい市役所の人が見にくるべきではと毎年感じてます。来ているのでしょうか？

- ・申し訳ありませんが、始めて見る内容でした。

- ・私は88歳ボケてしまってよくわかりません。このアンケートは私にとって何を聞いているのでしょうか？白岡市は、一部の大地主の顔色をうかがって、対策が進んでいないのではないのでしょうか。この町のダメな根源は、当たり障りない事を優先して、やるべき事を行っていない事です。白岡駅前のわけのわからない土地の確保状況を見ても分かる事です。白岡市管理の土地の中に新築の家が建っているのは何なののでしょうか？あんたたちは、大バカですか？88歳のババにもそう見えてます。

- ・（老いて協力の余力は有りませんが…）1. 瑣末な事へ視点を届ける事も大切だが…2. 斬新な企画力、急速に転換している時代には奇抜とも思われる意見も全否定することなく検討できる柔軟な態度。3. 基本条例を作るメンバーの能力に期待する。

- ・市民の幸せに対して、効果をあげているかは別にして、そこを目指そうとしている姿勢だけは、市行政の中にあると思う。それ以上に、草の根の活動をしている方の存在を、白岡市の中で多く知ることができているのが、ありがたい。

- ・白岡市民に町づくりサポーター制度がある事をもっとアピールしたほうがよいのでは？

- ・あまりにも情報がなさすぎてよく分からない。WEBで回答していたのですが、最後の最後で送信ボタンが表示されず、結局こちらで書くハメに。動作確認してから運用して頂きたいです。

- ・条例や制度も大事だが、白岡市の街の活性化に力を入れてほしい。駅前開発を進めてほしい。若者がいなくなります。

- ・広く市民の声を集約し形にしていくのは、なかなか難しいことかと思われるが、市役所の職員が普段の行政事務に携わりながら見えてくる日々の課題をヒントにアプローチ方法の工夫と改善にもう少し知恵を絞ることも必要かと思うがいかがでしょうか？

- ・年に2回（例）等により住民に広く知らせることが必要でしょう。広報の手段も種々あると思いますが？

- ・広報紙等を活用して周知していると思うがまだ十分ではないと感じる。

- ・ゴミ袋が高すぎる。もう少し安くしてほしい。

- ・のりあい交通をいつも利用しています。ありがたく思っています。しかし、利用者が多いために一週間前から申し込まないと取れません。できたら、台数を増やしていただければ幸いです。

- ・制度の周知・徹底の精度アップ方法は？

- ・内容がざっくりしていて、よく分からなかった。広報紙などで、もっと具体的に発信してほしい。

- ・住みやすい町であってほしいと思いつつも、なかなか事業などに参加できていないのが現状です。それでも子供たちの未来のために、協働したり、広報しらおかや議会だよりをよく見て今の状況を知っていきたいと思います。
- ・老人にとって病院に行く足がなくて困っている。のりあい交通あんなもの中途半端で帰り等取れたためしがない。巡回バスをもう一度考えてほしい。久喜はちゃんと走っているじゃないか！
- ・まずこの条例・制度の周知が十分なされていない時点で機能しておらず、自己満足で終わっている。一部の人間だけで辛うじて回っているようでは発展につながらない。
- ・自治基本条例について、正直全く知らなかった。でも白岡は住みやすいまちになっているので、こういう活動のお陰なのかなと思った。
- ・何を聞いているのかさっぱり分かりません。子供もいないので。
- ・区画整理や歩道の整備をしてほしい。特に歩道の整備については、夏季に雑草がはびこり、歩くのが困難な場所があるので、その場所の近隣に住んでいる人や、自治体で協力して、除草作業をする等、歩行者に優しい道を作してほしい。何年か前に市役所に歩道の整備をお願いしたが、放置されたままになっているので(車道はアスファルトを交換されたが、歩道は凸凹のまま)、まずは、自治体での除草作業くらいは徹底してほしい。道路が整備され、交通の便が良くなり、歩行者(児童、生徒、学生)にやさしい街になることが人口の増加にもつながるのではないかな。
- ・高齢者にはよく理解できません。
- ・パトロールしつつの挨拶運動すると白岡市民の人達みんな挨拶してよい環境になると思う。昔と違って近所付き合いがないから怖い。挨拶しても返事ない大人がいる(H29に白岡に引越してきた)。
- ・下大崎地区のインフラ基盤が弱い。(例えば、交通(バス)や光ネット等)高齢化が進んでいる地区に対し、手厚くすべき。(主旨から外れていてすみません)昨年1月に引越してきて感じた、正直な感想です。
- ・特にありません
- ・①ごみゼロ・クリーン運動②側溝の清掃③公園の管理を念入りに行う。(トイレ、草木、ゴミ)。ポイ捨て禁止の周知。
- ・特にありません
- ・街には条例は必要ない。憲法の内であればよい。条例、制度などは罰則にすぎない。自然平凡に生活できればよい。
- ・送られてきたこの書類によって、初めて知ったことなので、答えようがない。
- ・仕事の休みが週1回だけなので行政区の約をこなすだけで一杯一杯。ごみゼロなどは参加。
- ・過疎化・高齢化が目に見えている白岡市をこのままではいけないと思っています。
- ・このアンケートで白岡市この様な制度があることを初めて知りました。同封のパンフレット等を見ましたが、「格式張った言葉がたくさん並んでいる」と言った

印象を受けました。具体的に、「どうしたら、どんなことをどこでどうやって誰と出来るのか」がもっと良く分かるといいと思いました。御高齢の方々の知識と経験に若い方々のパワーが加わって、よりよい白岡市へと発展していくための参画・協働になっていくとよいなあと思います。

・問⑬菁莪地区の空家対策…その地区でシンボジウムしても住んでる方が暗い気持ちになったと言っていました。自然林・竹林の保護活動…簡単に伐採した地区が年末にありましたが何故でしょうか。土埃がひどくなりました。条例・制度には色々な試みがありますが、土台になる郷土愛あつてのこと。市内に存在する神社・仏閣・鳥居・神木…まずは、既存する文化を整備したいです。何に手を合わせますか？例えば下野田にある農民センターの佃に御神体ありますか？もはや地区に任せてられない現状。市が動くべきです。今回のアンケートとは別件ですが、道路名称看板ですが、歩行の頭・目の高さに近く、非常に圧迫感・恐怖感があります。角張っていて怖いです。

・何についても知る機会がありません。初めて聞く事ばかりです。

・こんなものを送ってこないで下さい。

・転居してきたばかりでよく知らない。今後、知見を深めていこうと思うが、取っつきやすい物（ガイドブック etc）があれば分かりやすくしてほしいと思う。

・自治会、登下校見守り etc の活動が自治基本条例に基づいているものとの理解が全くできていない。広報誌を始めとしてもっと多くの場でアピールしてもらいたい。勉強不足でお恥ずかしいが基本条例の周知をしている人は少ないと思うが…。

・空き家条例をもう少し迷惑条例等を適用しながら、徹底した運用を図るべきです。市道（歩道を含む）の見直し等。

・人材以外に助っ人隊というのではないのですか。元気な高齢者でもひとり暮らしに等しい人が多いのです。市の発展を祈ります。

・知らないことが多いと感じました。知る手段を増やしてほしい。

・条例・制度について質疑応答会合。専門用語、言い回しが難しく理解し難いため、解消出来る場があったらよい。

・なし

・アンケートなどよいから勝手にやってください。

・自分の関心がないこともあるが、正直情報がなさすぎて判断がつかない問いが複数ありました。

・50文字以下で書けるライトな意見を要求している時点でやる気を感じられない。

・市内循環バスは本当に実現できないのでしょうか。50文字で意見記入は無理。

・もっと、オープンになる冊子などの配布が必要だと思う。

・特になし

問22 回答者について

(1) 性別（n＝538）

ア) 男	220 (40.9%)
イ) 女	295 (54.8%)

ウ) 無回答	23 (4. 3%)
(2) 年齢 (n = 538)	
ア) 20歳未満	13 (2. 4%)
イ) 20歳代	43 (8. 0%)
ウ) 30歳代	59 (11. 0%)
エ) 40歳代	98 (18. 2%)
オ) 50歳代	81 (15. 0%)
カ) 60歳代	105 (19. 5%)
キ) 70歳代	100 (18. 6%)
ク) 80歳代	32 (5. 9%)
ケ) 90歳以上	1 (0. 2%)
コ) 無回答	6 (1. 1%)
(3) 居住地域 (n = 538)	
ア) 岡泉	4 (0. 7%)
イ) 実ケ谷	10 (1. 9%)
ウ) 千駄野	25 (4. 6%)
エ) 小久喜	89 (16. 5%)
オ) 上野田	26 (4. 8%)
カ) 下野田	9 (1. 7%)
キ) 爪田ケ谷	7 (1. 3%)
ク) 太田新井	18 (3. 3%)
ケ) 彦兵衛	9 (1. 7%)
コ) 篠津	35 (6. 5%)
サ) 野牛	7 (1. 3%)
シ) 高岩	14 (2. 6%)
ス) 新白岡	114 (21. 2%)
セ) 寺塚	1 (0. 2%)
ソ) 白岡	60 (11. 2%)
タ) 白岡東	12 (2. 2%)
チ) 西	63 (11. 7%)
ツ) 柴山	9 (1. 7%)
テ) 荒井新田	5 (0. 9%)
ト) 下大崎	9 (1. 7%)
ナ) 無回答	12 (2. 2%)
(4) 職業 (n = 538) ※複数回答有	
ア) 会社員、公務員	172 (31. 8%)
イ) 自営業	27 (5. 0%)

ウ) パート・アルバイト	7 5 (1 3 . 9 %)
エ) 家事専業	6 0 (1 1 . 2 %)
オ) 年金受給者	8 7 (1 6 . 2 %)
カ) 学生	2 0 (3 . 7 %)
キ) 無職	7 7 (1 4 . 3 %)
ク) その他	2 1 (3 . 9 %)
ケ) 無回答	1 2 (2 . 2 %)